

平成29年度学校評価報告書

1 本年度の重点目標

1. 個性の伸長と進路実現を目指し、自ら学ぶ意欲や態度の育成に努める。
2. 思いやりの心や基本的な生活習慣の定着を図り、自ら律する心の育成に努める。
3. 生命を尊ぶ態度や健康・安全意識を高揚し、たくましい心身の育成に努める。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度と変わらない評価を得ているが、新教育課程への移行や大学入試制度の変更を見据え、改善へ向けた取り組みをおこなっている。 ・ 授業公開、授業改善研修を実施し、教職員の相互研鑽のほか、保護者や学校関係者に授業アンケートへの協力をお願いし、授業改善に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校や中学校と連携し、相互研鑽を図り、授業の工夫、改善に取り組んでもらいたい。 ・ 主体的で対話的な深い学びが求められるなかで、講義型の一斉授業からの脱却を図ってもらいたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行教育課程の成果と課題を検証し、生徒の成長を図る教育課程の編成をおこなう。 ・ 公開授業、授業改善研修を推進し、授業力の向上を図る。 ・ 生徒による授業評価を有効に活用し、授業の充実を図る。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめ問題への対応、スマートフォンの正しい使用方法について校内全体で取り組んだが、保護者への周知不足からか、評価が低く、改善に取り組まなければならない。 ・ 交通安全教室や、身だしなみ週間などを設定し、基本的な生活習慣の確立に向け取り組み、昨年と同様の評価を得た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめ問題への対応について、保護者の3割が不十分と答えており、生徒、保護者、教員の三者が共通理解を図れる工夫をしてほしい。 ・ 厳しさと優しさを持ちながら、生徒との距離を縮め、「いじめ」の未然防止や早期発見に取り組んでもらいたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣にとどまらず、社会的常識を身につける指導の工夫を図る。 ・ 校外での生活について地域、保護者と連携し、協力を得ながら、指導の工夫を図る。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒と保護者で評価が大きく開いている。学校の進路活動や進路情報の保護者への周知不足が一因であり、学校と保護者が情報を共有できる機会を多く設定したい。 ・ 生徒の進路実現に向け、大学入試制度の変更を見据え、進路シラバスの改善に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者との連携を密にし、生徒の進路実現に向けて取り組んで欲しい。 ・ 生徒の進路意識を向上させるため、継続的な進路学習に取り組んでもらいたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最新の進路情報の提供や研修を行い、教職員の能力向上に努める。 ・ 進路シラバスの見直しと改善、保護者説明会を開催し、生徒の進路実現に向けたキャリア教育について理解を図る。 	

健康 安全指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 性の指導は、学年の発達段階を考慮しながら、きめ細かな指導がなされていることに対して高評価を得たが、保護者からはやや不十分という評価が多かった。 ・ 薬物乱用防止教室や交通安全教室を3年間を見通して計画的な指導を行っていることから高評価を得たが、保護者からはやや不十分という評価が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会に出てからも有用な指導となるように取り組んでもらいたい。 ・ 保護者との連携を図りながら、効果的な健康安全指導に取り組んでもらいたい。
------------	---	--

改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 性の指導について、保護者への周知を行うとともに、創意工夫を図る。 特に指摘の多い、自転車の乗り方についての指導を行い、交通安全の徹底指導を図る。 	
特色ある教育活動	<ul style="list-style-type: none"> 部活動加入率は、80%を越え、大会出場も増えたことから、生徒や教職員は高評価となったものの、保護者の評価が低い。積極的な情報発信をおこない協働体制づくりを進めたい。 商業科では、昨年に引き続き、中学生への出前授業を行い、好評を得た。 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動への加入を促し、学習との両立にも取り組んでもらいたい。 課題研究発表会や中学生への出前授業など商業科の特色をPRしてもらいたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 3年間を見通した資格取得と授業内容を保護者及び生徒に周知し、習熟度授業を実施して、検定取得者の増加を図る。 生徒会活動の保護者への情報発信を行うことで、理解を図る。 保護者との意見交換を通じて、保護者の意見を反映させるとともに、部活動への理解を図る。 	
保護者・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> P T A活動については、P T A役員を中心として学校行事への参加を得たが、P T A役員が減少し、参加率も低下している。 情報発信については、学校だよりの定期的な発行、ホームページでの情報発信に努めたが、保護者への周知不足から保護やや不十分という評価が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> P T A活動への積極的な参加を得られるよう工夫改善に取り組んでもらいたい。 情報発信方法を工夫するとともに、保護者のニーズに応える内容としてもらいたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> P T A活動を知ってもらい、参加しやすい環境づくりを図る。 情報発信を充実させ、学校理解の機会増加を図る。 	
公表方法	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価、学校関係者評価結果を学校評議員会、P T A役員会にて資料に基づいて報告した。 自己評価、保護者評価、学校関係者評価、学校評価報告書を学校だより及びホームページにて公開した。 	